



# ふらっと通信 第162号

令和6年2月8日発行



みんなネット



HP



FB

発行：南房総市富山地域づくり協議会「ふらっと」  
〒299-2216 南房総市久枝327  
(富山地域センター内)  
TEL：0470-57-3000 / FAX：0470-57-3002  
E-mail：tomy\_furatt@yahoo.co.jp



## 3/26(火) 参加者募集

## ふらっとフットパス98

### 大黒山に登り、房日新聞連載の小説「真潮の河」にちなみ捕鯨ゆかりの地を巡ります

今回のフットパスは、房州捕鯨の祖：醍醐新兵衛の墓や鯨塚などを巡り、勝山から岩井袋を経由して岩井へ歩きます。

期日 令和6年3月26日(火) ※雨天の場合は27日(水)に延期予定  
募集 30名程度  
集合 富山ふれあいスポーツセンター駐車場(南房総市久枝1024)  
午前8時40分までに集合  
参加費 500円(お土産代・資料代・保険料ほか)  
持ち物 電車賃150円、飲み物、保険証、雨具など

2月27日(火)から申込受付



コース (約6.6Km+大黒山登山)  
集合場所→岩井駅発(9時06分上り電車) ■■■ 安房勝山駅下車→交番前経由→  
勝山遊園地跡→▲大黒山登山→加知山神社(鯨塚)→長谷寺・いざな通り経由→  
弁財天(鯨塚)→昼正経由→岩井袋港→久枝海岸経由→集合場所  
(11時50分頃解散予定)

参加申し込み 富山地域づくり協議会「ふらっと」 ☎0470-57-3000 (平日のみ)  
E-mailでも受け付けています。

## 富山小6年生が「岩井とその周辺に残る戦争遺跡」を学ぶ

1月19日、富山学園6年生が、富山地域づくり協議会「ふらっと」富山学部長の川名修さんのガイドで地域を学ぶ野外学習を実施しました。久枝の「旧日本陸軍の補給廠」があった場所と燃料輸送のために作られた「円形道路」を歩いた後、旧海軍の特攻艇の基地があった鋸南町の岩井袋と、列車が走行中に米軍の機銃掃射を受け、犠牲者が出た現場に建立されている市部瀬の「恒久平和祈念の碑」を巡りました。教室での学習とは異なり、現地を訪れ学ぶ野外学習は、とても新鮮さを感じました。



旧日本陸軍補給廠と円形道路



岩井袋の特攻艇基地の説明



市部瀬の「恒久平和祈念の碑」

## 令和6年3月の富山地域内の活動(1月22日現在の情報です)

| 日  | 曜 | 活動・主催<br>(開催については主催者にお問い合わせください)               | 場所         | 時間             |
|----|---|--|------------|----------------|
| 2  | 土 | 岩井海岸ビーチクリーン ※雨天中止<br>080-8051-6039 iPLANNER 渡辺 | 高崎駐車場      | 6:30~<br>30分程度 |
| 7  | 木 | 岩井駅前公園美化活動 ※雨天中止(岩井案内人の会)                      | JR岩井駅前公園   | 9:00~          |
| 8  | 金 | おはなし会(あひるの会)                                   | 富山小学校      | 8:00~          |
| 13 | 水 | おはなし会(あひるの会)                                   | 白鳩保育園      | 10:00~         |
| 14 | 木 | 岩井駅構内花壇美化活動 ※雨天中止(岩井案内人の会)                     | JR岩井駅      | 9:30~          |
| 15 | 金 | 岩井海岸清掃(久枝1・2、3観光)                              | 岩井海岸       | 8:00~          |
| 16 | 土 | おはなしだいすき(あひるの会)                                | 岩井コミセン     | 10:30~         |
| 21 | 木 | 富山山頂美化活動 ※雨天中止(岩井案内人の会)                        | 集合：南房総市駐車場 | 9:00~          |
| 28 | 木 | 岩井川親水公園美化活動 ※雨天中止(岩井案内人の会)                     | 岩井川親水公園    | 9:00~          |

| サロン開催予定     | 場 所              | 開催日・時間                   | 問合せ・備考                       |
|-------------|------------------|--------------------------|------------------------------|
| 茶の間(久枝区)    | 久枝青年館            | 毎月第1・3火曜日<br>13:30~15:00 | 090-2328-8934(福原)            |
| 市部みんなのたまり場  | 市部青年館            | 毎月第2・4火曜日<br>10:00~14:00 | 090-5505-7022(吉澤)            |
| みならず出口      | 高崎出口青年館          | 毎月第2・4木曜日<br>13:30~15:30 |                              |
| いのばた        | 井野集会所            | 毎月20日<br>13:30~15:30     |                              |
| さろん平久里      | 平群コミセン           | 毎月第2・4金曜日<br>10:00~12:00 |                              |
| だんらんカフェ(犬掛) | 古民家カフェ<br>「田舎の家」 | 毎月第3木曜日<br>13:30~15:00   | 090-8963-5674(前田)            |
| 山田のかかしサロン   | 山田青年館            | 毎月第4水曜日<br>13:30~15:30   | 090-1556-4041(川名)<br>※山田区民限定 |

## 投稿 とみやま地名探訪 ④ へぐり



今から六十年ほど前に、平久里に映画館があったという驚く人もいるかもしれませぬ。その頃、平久里は岩井町に引けを取らない人口の多い街だったのです。

歴史を見ると平群には大化の改新の後から都の役人が赴任し、その人達が奈良の平群氏だったというのが定説です。

実は、日本全国には「へぐり」と名のつく所が何か所もあり、その多くが山中の川の脇の平地という地形でした。当地も川が低地をめぐって盆地状にした同じような土地です。

「へぐり」の文字も多く、平群・倍久利・平郡・平栗・平久里と様々ですが、どれも当て字で平群が一番古いようです。

古代、都から安房国に来るには海路を使っており、館山から平久里川沿いを北上し国府のある市原や市川に向かいました。平久里はその経路の重要な場所だったのです。特に平群天神社は古くから由緒ある神社だといえます。

平群の中には平久里下・平久里中と二つの集落がありますが、「平群」の文字は平群郡という広い範囲を表し、「平久里」と書くとならぬか。平久里村の周辺を指しているようです。「平久里」という文字は、おそらく平群の郡の力が弱くなり、私有地である荘園が広がった頃に作られた地名ではないかと推測しています。

岩井の人口が平群よりも増えたのは、江戸時代後半に海沿いの道が作られてからです。昔から道にはたくさん歴史があるのです。平久里の古い街道は、今では通る人もおらず歴史の記録の中だけにそっと残されています。

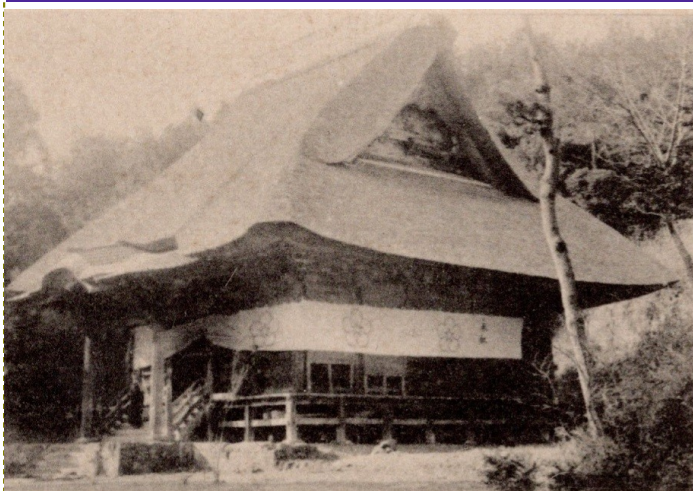


# 南房総学 安房国札観音霊場を大正時代の絵葉書で巡る

安房の国札三十四ヶ所観音霊場巡礼は、鎌倉時代、後堀河天皇在位の貞永元年（1232）に悪疫が流行し、飢饉にも襲われるなど、世情が惨憺たる有様だったことに心を痛めた時の高僧たちが相図って、安房国内に奉安する観世音菩薩にご詠歌を奉納し、厨子の帳を開いて巡り、拝んだことに始まるといわれています。今回は、第二十五番 真野寺・第二十六番 小松寺・第二十七番 住吉寺を巡ります。第一番から掲載順に観音霊場を訪れ、今昔を感じて見てはいかがでしょうか。

※説明文は、ちば南房総「安房国札観音霊場巡り」より抜粋

## 第二十五番 高倉山 真野寺 / 夜もすがら まの入り江の 松風に おぼなぞ見ゆる 秋の夕暮



奈良時代の神亀2年(725)、現在地の当方約1kmにある高倉山山頂に行基菩薩が開いたとされています。山号の高倉山はここから来ており、真野谷にあったために真野寺となりました。治承3年(1179)、源頼朝は真野寺に源氏再興を祈願して、大願成就。建永元年(1206)にお堂を焼失するも、翌年には北条義時が私財を投じて現在の場所に七堂伽藍を再建し、千手観音像と大黒天像を安置したということです。

本尊の千手観音像は奈良時代、行基菩薩が一木から掘り出したと伝わるもの。行道面をつけ、ご開帳の時も素顔を拝むことができないことから、「覆面千手観音」の異名を持っています。一説によれば、観音像の霊験があらたかで、かえって人を怖れさせて遠ざけてしまい、行道面をつけました。以来、参詣する人が増えたということです。

## 第二十六番 壇特山 小松寺 / 小松寺と きいてたずねて きてみれば ふしぎなるもの おとおうが滝



創建は奈良時代の養老2年(718)。役小角が小庵を建てたのが始まりといわれています。その後平安時代の天長8年(831)、慈覚大師により改築され、山王権現が併せて祀られました。その後火災で焼失するも、小松民部正壽により七堂伽藍は再建され、壇特山医王院小松寺とされました。

当院は天台宗、のちに真言宗に改宗。徳川家康や里見義康らの寄進を受けて、大寺院として修行道場になった歴史もあります。

ご詠歌の「乙王が滝」の滝にはある言い伝えが。乙王とは、小松寺を再建した小松民部正壽の子・千代若丸に仕えた少年。寺の再建落成法要で歌舞を奏している最中に、千代若丸が天狗にさらわれ、平久里郷で変死。その死を嘆いた乙王がこの滝に身を投げたということです。

## 第二十七番 中嶋山 住吉寺 / 中嶋へ まいりて沖を ながむれば いつもたえせぬ 波のあらさよ



古くはご詠歌に詠われる「中嶋」と呼ばれる海上の島にあったという住吉寺。元禄の大地震(1703)で海中の土地が隆起し、現在のような陸地になったのだとか。海上にあったころは船に乗って参拝していたとのこと。観音堂の裏側の小高い丘までが昔の海岸線だったといわれ、今でも観音堂の前には船を係留した岩があります。

境内に入ると正面が本堂、右手に庫裏、左手に岩山があり、観音堂へと至る急な石段があります。天保年間(1830~1844)に改築されたお堂に安置された本尊は行基作と伝えられています。境内には土佐興市の記念碑が。紀州印南(和歌山県印南市)出身の土佐興市は文化10年(1813)頃、南朝夷へ鯉節の製法を伝来。そのことから千倉町が「安房節」の発祥となったとのこと。

# 南房総市消防出初式が執り行われました

南房総市消防団は、常備消防と協力しながら災害活動に当たっています。団員は、昼夜を問わず献身的な活動を行い、地域防災のリーダーとして市民の生命及び財産を守っています。消防団の活動は1月の出初式を皮切りに、機械器具及び水利点検、火災予防時の防災啓発活動、歳末夜警などを実施しています。



第2師団(富山)入場行進



1月6日、嶺南和田運動場を会場に「令和6年南房総市消防団出初式」が開催されました。市長式辞・団長訓辞・表彰・来賓祝辞などが粛々と執り行われました。常日頃から地域防災などの活動を行って頂いている消防団に感謝いたします。

当日は快晴(西風が強かったですが)に恵まれ、式典日和になりました。まだまだ寒さが続く日々ですが、火の元に十分注意して過ごしていただきたいと思います。



# 「アトリエ良の里」2024年カレンダーを展示

合戸地区にお住いのイラストレーターのヨシヒロさんが運営する「アトリエ良の里」2024年カレンダーを、富山岩井コミュニティセンターロビーで展示しています。パソコンを使って描かれた創造豊かなイラストは、何時もながら感心させられます。センターにお立ち寄りの際はぜひご覧になって頂ければと思います。

